

# 昨年も12市で一番多い不登校 (中学生)

## 問題行動で逮捕10件15名



### 社会現象と手をこまねく

一昨年に続き、昨年度も12市の中で中学生が病気でなく30日以上学校を休んだ、不登校の生徒の割合が一番高い市となりました。また問題行動で逮捕された子どもの数は、10件15名にのほりました。

学校の責任だけではありませんが、「家庭の放任、社会的現象、問題行動は片親世帯が増えたため」と、手をこまねいているだけでは解決しません。

親が子どもに関われる経済的余裕が持てるよう、就学援助や社会福祉の充実が必要です。

また四ツ葉学園のためされ済みの30人学級を、分け隔て無く全てのクラスに適用することなど、どの子も大切にされる市をあげた対応が求められています。

### 二〇一一年度中学生の不登校

病気でなく30日以上休んだ生徒の割合

伊勢崎市	3.	68%
館林市	3.	43%
高崎市	2.	97%
藤岡市	2.	93%
安中市	2.	66%
太田市	2.	53%
前橋市	2.	35%
桐生市	2.	27%
富岡市	1.	96%
渋川市	1.	73%
みどり市	1.	55%
沼田市	0.	95%

## もっと下げられる国民健康保険税 15億円黒字

昨年度の国民健康保険の決算では、7億円の基金積立金が増やされました。その上8億円の繰越金が出て合わせて黒字は15億円になりました。

長谷田・北島



国保・介護について要請行動

2010年に赤字になると応能割りを4.5%値上げし、それでも不足する4億6千万円は市財政からも

繰り入れるという説明でした。これも収入は固く、支出は多く見積もった結果によるものでしょうか黒字が増えたのです。

4億6千万円市財政から繰り入れるどころか、こんなに黒字なのだからと繰り入れをゼロにしてしまいました。「赤字では値上げもしょうがない」と思った市民は騙されたようなものです。

まだ値下げの財源はあります。市民運動で、払える国保税にしましょう。

国保税引き下げの署名にご協力を！

### 入札なし随意契約二億六千万円

公園や道路の除草や樹木選定は、緊急対応が必要という理由で、関係業界の協同組合への一者随意契約での発注が増えています。合併当時1件4千8百万円だった発注が、昨年度は18件2億6千万円に増えています。

### 社会保険料どこに消えたの？

緊急雇用事業以外の事業は、設計単価に社会保険料も含まれていますが、現場で働く作業員は社会保険に未加入という状況があります。市が支払っている社会保険料事業主負担はどこに消えてしまうのでしょうか。

競争のない一者随意契約で発注するのであれば、支払額にふさわしい働き方になっているかどうか、きちんとした指導監督が必要であると主張しました。

